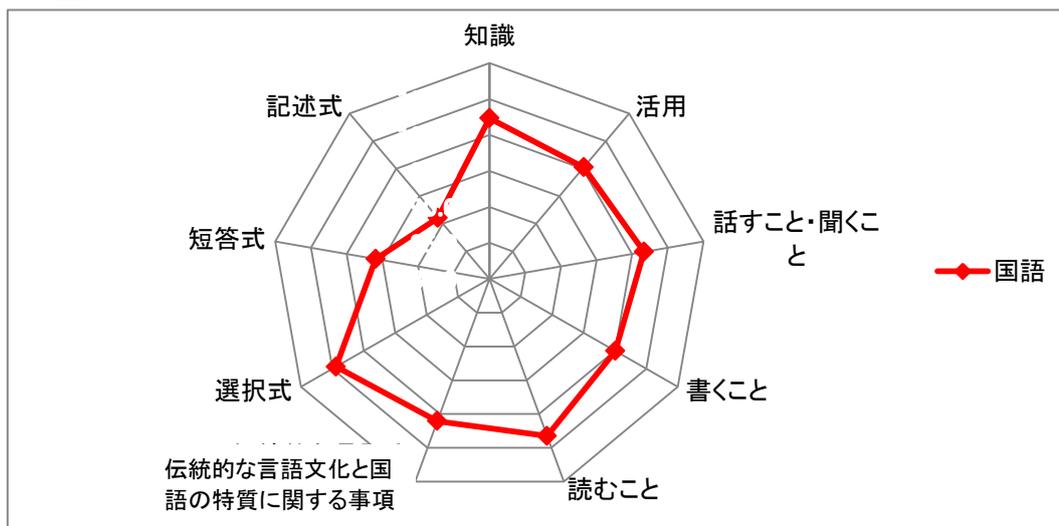


平成27年度 全国学力・学習状況調査 本校の平均値から見たグラフ

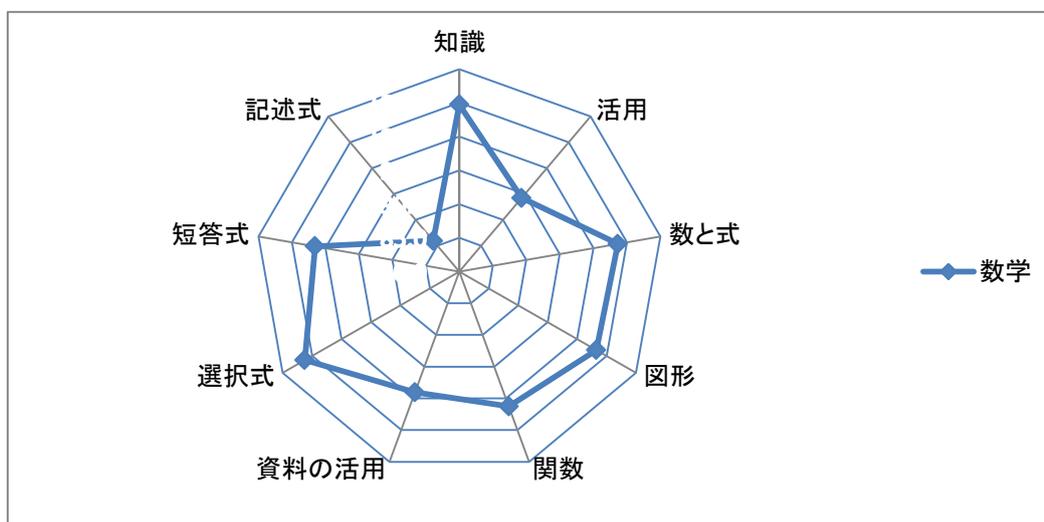
下のグラフは、本校の各教科の点数を「問題A」、「問題B」、「領域」、「問題形式」の4分野に分けてグラフにしたものです。全9項目の数値を平均したとき、よくできていた部分と不十分な部分が見え、すぐにわかるようにしました。グラフ点が外側にあるほど「よくできていた部分」、「強い部分」で、逆に内側ほど「不十分な部分」、「弱い」ところであるといえます。これにより、本校での国語・数学・理科において、どの部分が優れており、どの部分が改善を必要とするのか一目でわかります。

- ・国語では、「活用(B学力)」より「知識(A学力)」の方が上回っている。
 - ・国語では、「読むこと」に優れており、「選択式」の問題で力を発揮している。
 - ・国語では、「記述式」が劣り、「短答式」の問題でも力を発揮できていない。
 - ・数学では、「活用(B学力)」より「知識(A学力)」の方が上回っている。
 - ・数学では、「選択式」の問題で力を発揮できているが、「記述式」では力を発揮できていない。
 - ・数学では、「資料の活用」が、やや劣っている。
 - ・理科では、「活用(B学力)」より「知識(A学力)」の方が上回っている。
 - ・理科では、「地学的領域」が特に優れており、力を発揮している。
 - ・理科では、「短答式」では力を発揮しているが、「記述式」が著しく劣っている。
- ということがいえると思われます。

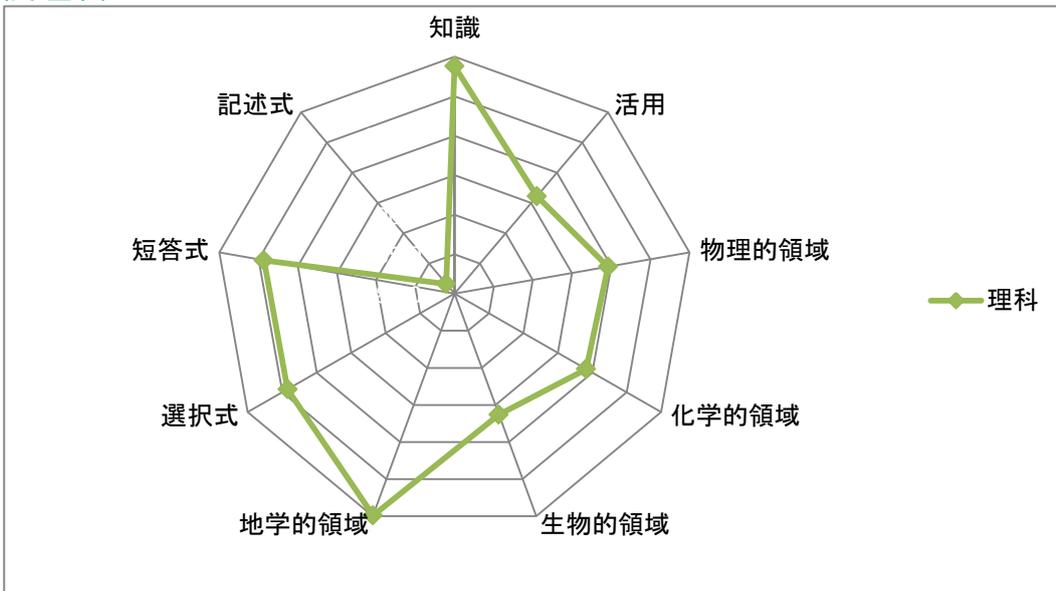
中学校国語



中学校数学



中学校理科



我孫子市立湖北中学校